

SSKW すてっぷ だより

編集 社会福祉法人すてつぶ すてつぶ後援会 〒379-2164 群馬県前橋市東上野町 136 番地 1 TEL 027-290-6161 FAX 027-290-6162 http://www.s-step.com

No.70



理事長就任あいさつ

明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。また、日頃から温かいご支援ご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

すてっぷが社会福祉法人となった 1999 年より、18 年の長きにわたり理事長と してご尽力いただきました鈴木基司先生が昨年 6 月を以って退任され、その後任を務めることになりました。

これまで常務理事兼施設長として法人運営の一端を務めさせていただきましたが、これからは法人全体のまとめ役という重責を担うこととなり、身の引き締まる思いが致しております。

昨年 11 月に(社福)すてっぷ 4 つめの多機能型就労支援事業所「れいんぼぅかんぱに」がオープンいたしました。法人全体では 12 の事業を運営、スタッフも常勤 60 人、非常勤 61 人と開設当初からは考えられない大所帯となりました。

福祉分野を取り巻く環境は依然として厳しく、社会福祉法人制度の改革や総合支援法の見直し、 慢性的な福祉人材不足など様々な課題や懸念が山積みしておりますが、皆様のお力添えをいただき ながら一歩一歩着実に前進できるよう取り組んでまいりたいと考えております。

今後とも障害のある方が地域社会の中で「ふつうに暮らす」「ふつうに働く」「ふつうに楽しむ」 ことができるよう、スタッフとともに創意工夫し全力でノーマライゼイションの実現をめざしてま いりますので、前任者同様ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

理事長 鈴木隆子

新役員紹介

役員(理事	事、監	事)	言	平議員		評議員選任	・解伯	E委員
理事長	鈴木	隆子	評議員	鈴木	基司	外部委員	猿木	素子
理事	今野	みや子	評議員	山西	哲郎	外部委員	女屋	きみ江
理事:	坂柳	幸子	評議員	佐々オ	大 弘道	監事	石川	正克
理事	户丸	史郎	評議員	今井	通安	事務局員	清宮	聖子
理事	根岸	由記	評議員	齋藤	寬			
理事	新井	亘	評議員	森田	房江			
監事	石川	正克	評議員	武田	康晴			
監事	田中	克己						

運営協議会委員

中村 紀雄 会長 副会長 大久保 裕史 委員 廣瀬 明美 委員 女屋 きみ江 賢治 委員 大屋 委員 福田 励子 委員 岡田 博子

社会福祉法の改正(平成 29 年 4 月 1 日施行)

経営組織の在り方の大幅な見直しが行われ、役員、評議員の役割も変わりました。理事会は執行機関となりました。評議員会は法人運営に係る重要事項の議決機関となり、法人運営を監督する役割を果たします。また、評議員会は役員への牽制機能を持つ機関でもあるので、理事会では評議員の選任・解任が出来なくなり、その役目は新たに設置される「評議員選任・解任委員会」が行う事になりました。

また、地域や利用者の意見を法人運営に反映させることを目的として「運営協議会」も新たに設置されました。 (運営協議会の設置は任意)

- すてっぷ後援会長新年の挨拶 -

新年のお喜びを心より申し上げます。

昨年末のハンドメイド展は大成功裏に終わることが出来ました。職員の皆様や後援会の仲間達、或いはすてっぷを支援応援して下さる多くの利用者やその家族、また、毎年の開催を楽しみに待っていて下さる皆様、貴重な作品を快くご提供下さる多くの作家の皆様方のご理解ご協力のおかげと改めて感謝申し上げます。赤字財政の元、医療介護福祉にかかる予算が減らされる傾向にある中、様々なご支援を各方面から頂戴し、何とかより良い環境がすてっぷでは実現できていると考えます。鈴木様を始めとする職員お一人お一人のご努力が実ったものと考えます。

本年度も皆様お一人お一人のお力を頂戴し、すてっぷを利用される方々に安心安全は勿論のこと快適な環境が得られますように祈念して、新年のご挨拶を申し上げます。 すてっぷ後援会 会長 猿木素子

ーチャリティーハンドメイド展の報告ー

12月2日(土)、3日(日)「第7回チャリティーハンドメイド展 in すてっぷ」は、おかげさまで無事終了いたしました。今回は、2日間とも晴天にめぐまれ、たくさんのお客様にご来場、ご協力いただきありがとうございました。

チャリティーハンドメイド展も 7 回目になり、毎年楽しみにしていただいている方、またお友達からお誘いや広告・雑誌・新聞などを通して初めてお越しいただく方など、後援会の大きなイベントとして定着してまいりました。

2日間の総売上は、129万円、来場者数は391名となり、パン工房すてっぷも大盛況となりました。今回ご協力いただいた作家さんは30名で、初めての作家さんも半数以上となり、去年とはまた違った雰囲気のもと開催することができました。売上の中からチャリティーとしてご寄付いただいたものは、今後のすてっぷの福祉事業に活用させていただきます。

今回のハンドメイド展を開催するにあたり、多くの方々にご協力いただきました。作家さんをはじめ、ご家族の方々、駐車場を貸していただいた田子会計様・前橋特別支援学校様、開催に必要な備品をお借りしました群馬理器様・ 永明公民館様、また東上野町自治会様。携わってくださったすべての皆様のご協力に、心より感謝申し上げます。

今年も「社会福祉法人すてっぷ」の活動を支えていくために、後援会として様々な活動をしていきたいと思っております。またすてっぷ後援会もますますたくさんの方にご入会いただけるよう、頑張りたいと思います。

すてっぷ後援会 会長 猿木素子



チャリティーハンドメイド展収支報告

総売上 1,296,774 円

収入 売上寄付金 471,982 円

支出 必要経費(印刷費等) 152,597円

純利益 319,385円

来場者数 391名







handiar+2017 & デンマーク福祉・教育視察報告 2017.8.21~27



ハンディアート展閉会式後の会場で記念撮影

【参加者】

鈴木隆子(わーくはうすすてっぷ)

今野みや子((有)サンサンすてっぷ)

新井 亘(社会就労センターびいす)

飯島健二(れいんぼう かんぱに)

斎藤陽一(前橋市障害者支援センター)

千葉伸一(わーくはうすすてっぷ)

齋藤和美(れいんぼう かんぱに)

冨沢奈央(れいんぼう かんぱに)

黒沢明(わーくはうすすてっぷ利用者)

佐々木良太(アートサポーター)

鈴木 孝 (ボランティア) 今野光雄 (ボランティア)

【アート展、視察研修の日程】

日付	アート展	視察研修		
8/21(月)	群具	 馬~成田空港~コペンハーゲン~ネストベズ		
8/22(火)	アート展準備	コペンハーゲン観光、カフェ視察		
	開会式、アート展	ネストベズ市障害者&精神医学課		
0 (00 (-14)		ボー・ガメルゴーより解説		
8/23 (7K)		NSV (障害者雇用アクティビティセンター)		
		Cafe Crea		
	アート展	Egehuset(子供と若者のための特別教育ネットワーク)		
0 (04 (+)		Akaciehoset (0~6 歳時のためのデイケア)		
8/24(木) 		Hollaenderhusene (0~18 歳までの深刻な身体、精神、認知障害		
		を持つ子供の若者のためのデイケア及びレスパイトケア施設)		
		VISP (特別教育研究センター)		
0 (05 (4)	アート展、閉会式	障害者支援住宅		
8/25(金)	パーティー	ネストヴェド社会教育センター		
		NSV (障害者アクティビティセンター)		
8/26(土)		ネストベズ~コペンハーゲン移動、観光		
8/27(日)、8/28(月)	27(日)、8/28(月) コペンハーゲン~成田空港~群馬			

ネストベズ市から招待された黒沢さんの handiart2017 への参加に合わせて、昨年見ることの出来なかった重度の障害者 (自閉症含む) の支援の様子を見たいとネストベド市にリクエストして、スタッフの視察研修も行ってきました。視察研修 自体学ぶことは多かったですが、黒沢さんと一緒にデンマークに行ったことで、スタッフだけで行った時には見えてこなか ったデンマークのノーマライゼーションの凄さを感じることが出来ました。(研修報告は次号に掲載します)

社会就労センターぴいす 新井

デンマークネストヴェド市 ハンディ アート 2017 黒澤明さん参加報告 2017.8.23-25

初めてのアートパフォーマンス

アート展初日、3 時から黒澤さんのアートパフォーマンスを行いました。アートサポーターの佐々木氏が英語で会場に告知を行い、会場にいる大勢の人が黒澤さんの周りに集まりました。スタッフとは事前に「だいじょうぶ」という字を書こうと話をしていましたが、佐々木氏の意向で今回は本人に何を書くかを任せることになりました。

会場から期待のこもったまなざしで見つめられて、黒澤さんも緊張した面持ちで筆を握りました。





しばらく考えたのち、おもむろに手が動き、最初の一文字をかき出しました。一文字書き出したところで、しばらく考え、「さいた」と書きました。会場から拍手が起こると黒澤さんにも、笑顔が出てきました。

会場にいた観客の一人は黒澤さんの真剣な様子に感動し、涙していました。 その後、観客から写真撮影を依頼され黒澤さんも笑顔で応じていました。

海外アーティストとの交流「侍」

1日目の昼過ぎ、人が少なくなったところで、ドイツから参加していた Andreas Eskens さんより声をかけられました

Eskens さんは黒澤さんの掲載された新聞記事を読んだ様子で「明は書を通して、 気持ちを表現している、自分も絵を書くことが自分の表現、明と自分は同じ。



日本とドイツの友達」と話し、絵のアイデアの書かれ た小さなスケッチブックをプレゼントしてくれました。 あっけにとられた様子でお礼を言い、スケッチブック を受け取った後、急に黒澤さんが「うー」と大きな声 を出しました

文字盤を使い、言いたいことを確認すると「なまえ しりたい」と教えてくれました。スタッフと二人で

Eskens さんのところへ行き、名前を教えてほしいと伝えると、先ほどのスケッチブ

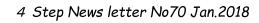
ックに名前を書き、読み方を教えてくれました。名前を教えてくれたことに対し、ボカで「タック」と伝え、笑顔を見せていました

2日目にも、Eskens さんが再び黒澤さんのところにきて一枚の絵を 差し出しました。「明が来た日本をイメージして書いた」という鮮や かな色の侍の絵でした。黒澤さんはお礼を言い受け取りました。

その後、スタッフと相談し、侍の書を書き、Eskens さんにプレゼントすることにしました。

初日の緊張した様子とは違い、スムーズに「侍」の字を書きあげ、満足した表情を見せました。出来上がった書は Eskens さんにプレゼントしました。





コミュニケーション(VOCA)

アート展初日黒澤さんのブースにもたくさんの人が見に来て、 声をかけられました。

黒澤さんは日本で準備をしていたボカを使用し、「ハイ」「タック」 (デンマーク語でこんにちは、ありがとう)と声をかけていました。 ボカに書いてある内容を見た人から「グッドチョイス」と言われ、 一層張り切っていました。

3日目にはアート展の雰囲気にも慣れ、作家としても自信もついた 様子で、堂々とした態度で参加をしていました。会場に来ている人 も自然に話しかけてくれ、黒澤さんがトーキングエイドで返事を 返すまで自然に待ってくれているため、黒澤さんも気負いなく返事 ができている様子が印象的でした。



書家として



初日に、他の参加者の支援者が黒澤さんの作品を見て、値段が安す ぎる。(書 1 枚 1000 クローネ、約 18,000 円) 「素晴らしい作品に はそれに合った価格設定が必要」というアドバイスがあり、黒澤さん と相談をして作品の値段を決めました。相談の結果、黒澤さん自身が 良いと思った作品から値段をつけていきました。その結果一番気に入 っっていた「いいお天気」に 4000 クローネの値段(約72,000円) を付けました。自分の作品の値段を決めることは初めての経験でとて も迷っていましたが、とても真剣な表情で、すべての作品の値段が決 まり、値札をつけかけると、充実した笑顔で自分の作品を眺めていま した。



閉会式 参加者全員の記念撮影

まとめ

ハンディーアート 2017 に参加し黒澤さんも大きな変化がありました。初日は緊張した面持ちで、すべてスタッフに お任せ、自分はお客さんという雰囲気でしたが、皆、黒澤さんに直接話しかけていく中で、自分が主役であると感じたよ うで、自分から積極的にあいさつしたり、自分の思いを伝えたいという場面が多くありました。

初めての海外での展示会に参加し、たくさんの物を得られたデンマーク研修でした。

れいんぼぅ かんぱに 飯島

- わーくはうすイベント報告

◎素敵な体験盛りだくさん!新潟津南1泊2日の旅 7月6日 (★) ~7日 (金)

利用者9名、スタッフ9名、運転手1名の合計19名の旅行となりました。今回の旅行では、「自分で〇〇する」 という経験を大切にしました。BBQ では自分で焼く、バイキングでは自分で好きなものを選んで取る、ピザ作り体験 では自分で作る、ということをしました。生活介護班では、旅行前に、「トングを使っておやつを選び取る」という バイキングの練習をしました。その結果、バイキングでは自分で選んで取り食べることができました。

■旅行日程【1 日目】わーくはうす→ニュー・グリンピア津南→BBQ→アクティビティ→バイキング 【2 日目】ニュー・グリンピア津南→リストランテ・ピッツェリア・アルピナ→わーくはうす

〈ニュー・グリーンピア津南〉













自分達で焼いたお肉は格別! グランドゴルフは迫力満点! ゴーカートの運転はドキドキ!

自分でパフェ作り!

アルピナで ピザ作り体験!

◎大阪道頓堀&USJ2泊3日の旅

10月11日(水)~13日(金)

利用者14名、職員7名で大阪へ2泊3日で行って来ました! 道頓堀では、車椅子で行けるお店やライブハウスがあり、街中に 車椅子トイレも設置されていました。USJでは、車椅子のまま乗 れる「ジョーズ」や移乗すれば乗れるアトラクションも多くあり、 パレードも迫力満点で楽しむことが出来ました!!



念願のハリーポッターエリアでアカペラ 鑑賞。映画のままの世界観を堪能!!



串カツを食べた後、大食いチャンピオンの ジャイアント白田さんと記念写真



グリコポーズ!



USJ でキャラクターと記念写真

ぐんまマラソンへ出場 ~平成 29年 11月3日 (金) 開催~



ゴール直前、思わず笑顔に!

14,572 人もの出場者の一員として、10 kmコース・4.2 kmコースに、わーく はうすすてっぷ・れいんぼっかんぱにの利用者さん 23 人が参加しました。 当日 は天候に恵まれ、参加者の皆さんは無事に完走することが出来ました。応援団 は、緑やピンクのすてっぷ Tシャツが見えると、「頑張れ~!!」と旗を振り ながら声援を送っていました。

皆さん走る、歩く、車椅子自走と参加は様々ですが、その中でもれいんぼっか んぱにの加藤飛鳥さんが上毛新聞に取材されました。(2017.11.4 掲載)

来年も皆さんで出場できるよう日頃から体力づくりに励みたいです。応援に 来てくださった関係者の皆様、ご家族の皆様ありがとうございました。

- ぴいす&とらっぱイベント報告 -

◎沖縄旅行「青い海と美味いものに出会う旅」

7月6日~8日の2泊3日、リクエストナンバーワンの沖縄へ行ってきました。

1日目はグラスボートに乗って色とりどりの魚や珊瑚に興奮し、夜は美しい夕焼け を眺めながらのバーベキューに大満足。

2日目の午前はホヌホヌダイバースのガイドで青の洞窟のシュノーケリングや、 琉球体験王国でエイサーなどの沖縄文化に触れ、午後はジェットスキーなどの アクティビティや波に身を任せてたっぷりと沖縄の海を満喫。



いつまでも揺られていたい



新鮮地魚を前に踊り出す



フルフェイス型マスクで楽々と

3日目は思いおもいのお土産探しに国際通りを行ったり来た り。料理は沖縄名物のオンパレード。地元で評判の居酒屋で三味 線ライブの音色に合わせて海の幸を味わい、ソーキそばやアグー 豚など美味いものを堪能。

3日間沖縄の海と料理を満喫し、とらっぱとぴいすの交流も 兼ねた思い出深い旅となりました。

とらっぱ 山田

◎那須旅行 キャンプ

【1日目】福祉会館発→バスで道の駅日光ニコニコ本陣へ(昼食)→今市駅よりSL乗車→塩原グリーンビレッジで バーベキューの夕食→コテージまたはテント泊

【2日目】塩原グリーンビレッジ発→りんどう湖レイクビュー→福祉会館

9月9日~10日にぴいす・とらっぱ合同で那須塩原キャンプ旅行へ行ってきました。 キャンプ旅行を希望した利用者さん、ぴいすととらっぱ合わせて17名。

元気にバスに乗り込み道の駅日光二コニコ本陣へ向かいました。

昼食をとり、翌日の朝食の買い物をグループごとに済ませ、次はSLに乗るために 今市駅へ移動。大きな汽笛を鳴らしながらホームへ走ってくるSLに興奮し、車中 でも写真撮影や真っ黒いアイスを食べたりしてSLの旅を楽しみました。再びバス に乗り、塩原グリーンビレッジへ。夕食はバーベキュー、その後は花火、とキャンプ 場ならではの時間を過ごし、就寝。テントに泊まることを希望した二人の利用者さん は、初めての寝袋でもぐっすり寝られたようです。

2日目は、前日に買った食材で職員手作りの朝食を 済ませ、楽しみにしていたりんどう湖レイクビュー ヘバスで向かいました。

グループごとにアトラクションを楽しんだり、動物 と触れ合ったりしていると、あっという間に出発時 間になってしまいました。家族や友だちにお土産を 買い、キャンプ旅行は終了。



朝ごはんを作りました。



テントに泊まりました



今回はコテージに泊まった人も、「次はテントに泊まる!」と話していました。みなさんホテルに泊まるのとは違っ た体験ができたと思います。次の旅行も楽しみですね。 ぴいす 小山

11/1~OPEN



- ●就労継続継続 B 型 定員 10 名
- 定員 10 名 (現員 16 名) ●生活介護事業



〈園芸・創作班〉

- 畑什事
- わーく敷地内の掃除
- れいんぼう内の掃除
- 花配達
- ・ 食材の買い物
- クッキング など





〈生活介護班〉

- 外出活動
- 太鼓
- 散歩
- 知育活動
- ・スヌーズレン
- ・クッキング など
- ※乗馬や入浴の活動予定あり

お待ちしていま~す!



〈喫茶班〉

- 接客
- 店内の掃除 など
- 営業の準備



●カフェ営業日:金・土・日 10:00 - 17:00



http://s-step.com/rainbow@s-step.com

- 研修報告 -

野沢和弘氏講演会開催 『より良い支援のために ~虐待防止を考える~』



日時:平成29年9月18日(月祝)10~12時

会場:群馬県青少年会館1階プレイホール

参加者:総数 103 名

今回の研修で野沢氏は、「感じてください」とおっしゃいまし た。頭で知る虐待防止ではなく、支援者として心を揺さぶられ

る2時間になりました。

虐待をなくすためには、障害特性や利用者自身に興味を持ち、良い支援を実現する。そのためには支援者がやりがい を感じなければならず、そのことが障害者を幸せにするとのこと。そして、支援のミスや権利侵害の芽を恐れず、隠さ ないこと。支援者自身の気づかない感性の鈍さや傲慢さを恐れること。見て見ぬ振りが虐待を招くということ。必要の ない身体拘束は虐待であるということ。行動障害は環境や支援によって引き起こされるということ。何よりも利用者が 生活を楽しめることが大事であり、そのためには支援者の心のコンディションを常に良くしておかなければならない。 支援者のアイデンティティを変える必要があるということ・・・野沢氏のお話は聞いている私達の心に次々と突き刺さ る様に感じます。

新聞社の記者として見聞した虐待の事実やその背景、自閉症と知的障害のある息子さんの父親としての体験から気づ かれたエピソードに会場では涙を拭う姿も見られました。

どこでも虐待の芽は生まれるというお話しから、「絶対に虐待はない」と思っていると「絶対にしてはいけない」→ 「虐待が起きたら大変」→「起きるはずがない」というように虐待を否定する心理の形成が行われる。その反対に、「い つ虐待の芽が生まれるかわからない」というように思っていれば、支援員の感性は研ぎ澄まされ、謙虚さが生じ、風通 しの良い職場となり虐待をエスカレートさせない風潮が生まれる、と語られました。

すてっぷでも、「起きるはずがない」という思い込みに陥らないようにスタッフー同でこの研修を深く共有したいと 思います。そして、利用者の方々が「言っても駄目だという『あきらめ(学び取った無力感)』」を感じることがない ように謙虚に見て見ぬふりをしない風土を作っていきたいと決意を新たにしました。

文:関口晃一)

後援会費納入ありがとうございます 🕶

赤井眞佐子様、荒井千晶様、相川幸治様、芦田朱乃様、飯島隆光様、飯塚秀樹様、糸数 正様、 石橋英子様、一倉憲一様、浦野成章様、追川祐次様、大崎健樹様、(有)おおさき様、大澤 薫様、 大谷久子様、大野友紀様、女屋泰秀様、女屋常冶様、小野口房子様、金井克之様、金子登様、 金古道子様、神澤智恵子様、北爪雅夫様、桐生瓦斯株式会社様、久保 博様、小泉修也様、 小玉優美子様、小林香織様、小山陽二様、齋藤乾史様、佐藤恵子様、清水真弓様、鈴木計太郎様、 関 孝之様、高木伸之様、高柳勝巳様、瀧澤久仁子様、滝澤俊幸様、武井宏純様、竹内淳一様、 竹内有紀様、田中克己様、田中学様、土屋次郎様、戸丸史郎様、戸丸和子様、中澤康子様、 仲野千鶴様、中村佐由利様、萩原尚樹様、蜂巣史良様、林 戸様、福島忠雄様、藤井節男様、 堀越久美子様、松本正子様、(有)丸又様、三澤和彦様、村山健児様、本山朱実様、本山真吾様、 山本朱実様、湯浅知子様、吉沢 保様、

ご寄附



ありがとうございます



れいんぼう かんぱにの土地(約3,250 ㎡))は 前原芳夫様からご寄附いただきました。

11/1 の開所式にはご都合がつかず、残念ながらご 出席いただけなかったので、日を改めて理事長と総務 課長で感謝状をお渡しに行ってきました。

「良い施設を建てていただいた上に、このような感謝 状までもらえるなんて」とお喜びいただけました。



ご寄付





柴﨑妙子様、今野みや子様、鈴木隆子様 鈴木 孝様、善方明子様、髙橋厚子様 (有)ダーオーエス・アウトソーシング様、坂柳幸子様、鈴木基司様 田中克己税理士事務所様、すてっぷ後援会様

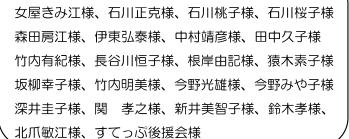
チャリティハンドメイド展寸志 ありがとうございます



れいんぼうかんぱに開所式お祝い金 ありがとうございます

福田励子様、木村功様、関ロ 宏様、女屋きみ江様 森田房江様、大久保裕史様、今野みや子様

黒澤明さんハンディアート応援寄付 ありがとうございます



ホーム建設基金 ご寄付ありがとうございます

飯島隆光様、黒澤巻雄様、土屋博正様 中村紀雄様、勅使川原恵子様



蒟蒻製品寄付 ありがとうございます



群馬県蒟蒻共同組合様

・わーくはうす すてっぷ

- 社会就労センターぴいす
- とらっぱ
- ・れいんぼぅ かんぱに
- ・ヘルパーステーションすてっぷ
- ・ケアホームRUN
- ・メゾンすてっぷ
- ・ケアホームすきっぷ
- ・わくわくハウス
- ・ケアホームじゃんぷ
- ・すまいるホーム
- 前橋市障害者生活支援センター
- ・ワークセンターまえばし
- ・サービスステーションすてっぷ
- Kid's Club
- Little Kid's Club

〒379-2164 前橋市東上野町 136 番地 1

〒379-2164 前橋市東上野町 136 番地1 〒371-0017 前橋市日吉町 2-17-10

〒371-0246 前橋市柏倉町 520-1

〒379-2164 前橋市東上野町 136 番地 1 TEL 027-290-2233

〒371-0017 前橋市亀泉町 3-32

〒371-0004 前橋市亀泉町 3-83 〒371-0004 前橋市亀泉町 3-41

〒371-0007 前橋市上泉町 338-1 〒371-0007 前橋市上泉町 338-2

〒379-2114 前橋市上増田町 1852-5 〒371-0017 前橋市日吉町 2-17-10

〒371-0017 前橋市日吉町 2-17-10 〒379-2164 前橋市東上野町 136 番地 1

〒379-2164 前橋市東上野町 136 番地 2 TEL 027-289-6162 〒379-2164 前橋市東上野町 136 番地 2 TEL 027-289-6162

TEL 027-290-6161

TEL 027-290-6161 TEL 027-219-2525

TEL 027-226-1547

TEL 027-289-5605 TEL 027-269-7444

TEL 027-288-0704 TEL 027-289-8177

TEL 027-212-7730

TEL 027-289-5660 TEL 027-236-0001

TEL 027-231-7345 TEL 027-290-2233

発行人 特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21 編集人 社会福祉法人すてっぷ すてっぷ後援会 〒379-2164 群馬県前橋市東上野町 136-1